

平成 28 年度 水路技術奨励賞（第 31 回）

少壮の水路技術者の研究意欲を増進させ、ひいては水路技術の進歩・発展を図るため、昭和 61 年に「水路技術奨励賞」の基金を設け、毎年優れた業績を残した方にこの賞を贈っています。

今年度は平成29年1月11日に水路技術奨励賞選考委員会幹事会、平成29年2月14日に水路技術奨励賞選考委員会において受賞者を選考し、平成29年3月8日、水路技術奨励賞表彰式において4件7名の方に水路技術奨励賞をお贈りいたしました。

受賞者は以下のとおりです。（敬称略）

1. 「南海トラフ巨大地震想定震源域におけるプレート境界の固着分布の推定」

受賞者：海上保安庁海洋情報部 海洋調査課海洋防災調査室 横田 裕輔
海上保安庁海洋情報部 技術・国際課海洋研究室 渡邊 俊一

2. 「衝撃波力を含む高波浪場のための数値設計手法の開発」

受賞者：（国研）海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 鶴田 修己

3. 「内航船向け最適航海計画支援システムの開発 商用化」

受賞者：（一財）日本気象協会 事業本部防災ソリューション事業部 佐藤 淑子
同 前田 正裕
同 諸岡美菜代

4. 「水中騒音振動監視システムの開発」

受賞者：東亜建設工業株式会社 東京支店 宮崎 哲史



受賞者の皆さん

左から、横田さん、鶴田さん、前田さん、当協会陶理事長、佐藤さん、諸岡さん、宮崎さん